

東京都創薬・医療系スタートアップ育成支援事業
エコシステム形成支援者（プロモーター）
公募要項

令和4年11月



デジタルサービス局デジタルサービス推進部デジタルサービス推進課

目次

1. 背景.....	3
2. 目的.....	3
3. 事業スキーム	4
4. エコシステム形成支援者（プロモーター）の公募	5
5. 都とエコシステム形成支援者（プロモーター）との連携	7
6. エコシステム形成支援者（プロモーター）の応募方法	9
7. 審査の流れ.....	10
8. 留意事項	13
9. 申込・問い合わせ先	13
【別紙1】	15
【別紙2】	17
企画書に関する留意事項.....	17

1. 背景

高付加価値型である創薬・医療関連産業は、革新的な医薬品・サービス等が開発されることで、東京の経済の活性化につながるとともに、都民・国民の健康長寿の実現に寄与するポテンシャルを有しています。また、新型コロナウイルスワクチン開発において活躍するなど、創薬・医療系スタートアップの存在感は世界的に高まっています。

他方、日本は研究機関の基礎研究水準が高いものの、イノベーションの牽引役である創薬・医療系スタートアップが不足しているため実用化につなげる流れが弱いという指摘があり、研究機関等からこれまで以上に多くの事業化を促すとともに、円滑に事業運営ができる環境整備が重要であると考えています。また、創薬・医療系スタートアップは、事業領域についての知識・経験が不足しているケースが多く、人材の確保や育成が重要であるとともに、長期間にわたる研究開発に必要な資金の獲得・調達機会の創出や、研究開発環境整備等への支援も必要であります。

このような状況の中、創薬・医療系スタートアップにおける事業化を加速させるためには、起業、資金調達、人材確保、研究開発等を支援し、成長を促進させることが必要となります。

2. 目的

東京都（以下「都」という。）では上述の背景を踏まえ、「世界一のスタートアップ都市・東京」の実現に向け、平成 30 年度から、創薬・医療系スタートアップへのアクセラレーションプログラムを実施してきました。

創薬・医療系スタートアップの成長を加速させ、オープンイノベーションをさらに促進させていくためには、これまでの支援実績を活かすとともに、製薬企業、大学・研究機関や投資家等が集積する東京の強みを活かし、更なる外部リソースの巻き込みを図りながら事業を進めていく事が重要です。そこで、当年度からは、都と協定を締結して事業を実施するエコシステム形成支援者（プロモーター）を公募し、そのエコシステム形成支援者（プロモーター）が創薬・医療系スタートアップのエコシステム形成を目指す事業を実施します。

具体的には、同領域のスタートアップのスケールアップやシーズの掘り起こし支援、投資促進・リソース確保、オープンイノベーション等を加速させるとともに、支援環境充実を目的とした企画提案を事業者から募集します。そして、採用された企画提案を基に都と事業者が協定を結び、両者が連携して、持続的かつ自立的に機能する創薬・医療系スタートアップのエコシステム形成に取り組みます。

なお、持続的かつ自立的に機能するスタートアップエコシステムとは以下の環境を想定しています。

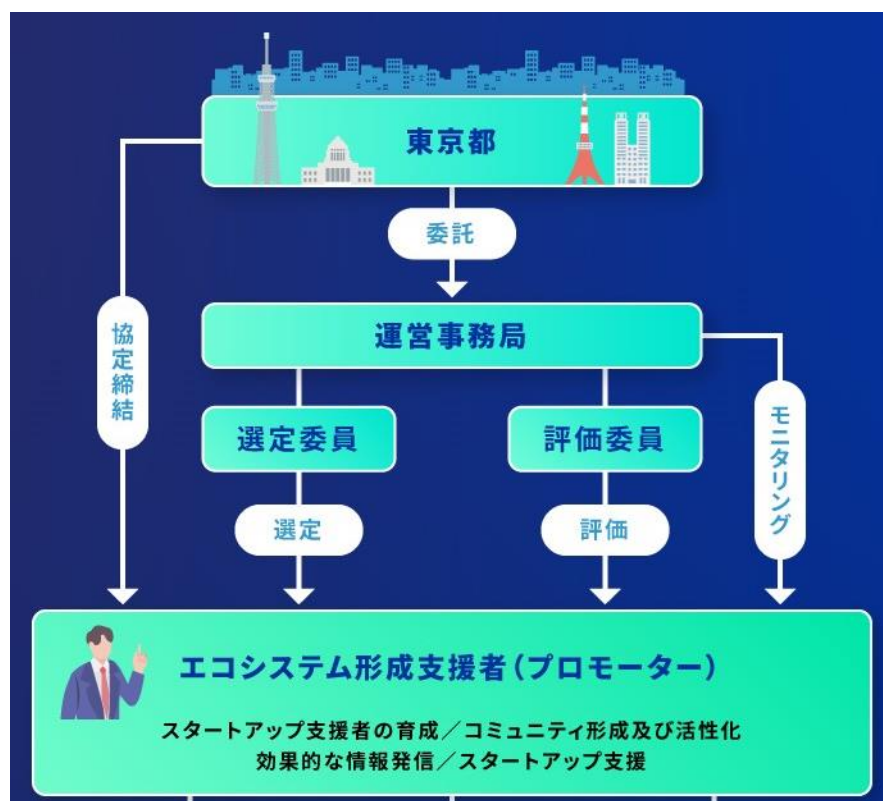
- ・ スタートアップが生まれ、成長し、成長後にリソースが再投資される自立的・発展的なシステムが形成されている
- ・ 創薬・医療領域に精通した VC をはじめとする金融機関、大学や研究機関、大企業、

インキュベーター・アクセラレーター、その他専門人材等（以下、スタートアップ支援者とする）の支援者が十分に存在する

- ・ スタートアップ支援者相互のネットワークが形成され、同領域のスタートアップが抱えるニーズや課題に対して必要な支援が自発的に提供される環境にある
- ・ スタートアップやその支援者との関わりを求めるエコシステム外部の関係者の自然流入が生じている

3. 事業スキーム

- （１） 都がエコシステム形成支援者（プロモーター）１者（複数の事業者による共同事業体による提案も可）を公募・採択し、協定を締結します。
- （２） 採択にあたっては、本事業の運営事務局が運営する選定委員会により審査を行います。
- （３） 事業目的を踏まえ、エコシステム形成支援者（プロモーター）は創薬・医療系エコシステムを形成するための企画及びその遂行役を担います。
- （４） エコシステム形成支援者（プロモーター）に応募する者は、応募時に協定金見積額の作成及び KPI を設定し、その KPI の達成度合いやスタートアップ及びスタートアップ支援者への支援件数等の成果に応じて、都から協定金の支払いを受けます。
- （５） 協定金の算定にあたっては、外部有識者を含む KPI 評価委員会により達成状況等の評価を行います。



4. エコシステム形成支援者（プロモーター）の公募

（１）エコシステム形成支援者（プロモーター）の要件

エコシステム形成支援者（プロモーター）は、創薬・医療系スタートアップ及びスタートアップ支援者を支援し、同領域のスタートアップエコシステム形成を目指します。よって、エコシステム形成支援者（プロモーター）に求められる要件は以下のとおりです。

- （ア）創薬・医療領域におけるスタートアップエコシステムの強化・促進及び自走化に向けた明確なビジョン・戦略・実行計画を有する。
- （イ）創薬・医療領域のスタートアップの創業・事業化に向けた課題を理解しているとともに、エコシステム形成に向けた適切な支援スキームを設計・実行する力を有する。
- （ウ）創薬・医療領域のスタートアップが抱える課題を協力して解消することができるスタートアップ支援者とのネットワークを国内外に有し、本事業に誘引する力を有する。

（２）エコシステム形成支援者（プロモーター）の役割

都及び事務局は、創薬・医療系スタートアップとスタートアップ支援者が相互に密な繋がりがある集団・状態をコミュニティと定義します。

このコミュニティが核となり、スタートアップとスタートアップ支援者の輪が広がり、スタートアップの成長が促進されるとともに、リソースが循環していく状態をエコシステムと認識しています。本事業においては、そのエコシステム形成の核となるコミュニティをエコシステム形成支援者（プロモーター）が形成・活性化させ、ひいては、国内外から注目されるエコシステムへと発展させていくことを期待しています。

エコシステム形成のために、エコシステム形成支援者（プロモーター）に求める具体的な役割は以下の通りです。なお、（ア）から（エ）まではエコシステム形成支援者（プロモーター）の必須の役割と定め、そのほか本事業目的の達成に向け、必要な企画及び実施は、（オ）のとおり、エコシステム形成支援者（プロモーター）の発案に基づくものとなります。

（ア）スタートアップ支援者の育成

スタートアップ支援者に対する支援機会を検討・創出すること。また、すそ野を拡大するために、他分野に限定して支援しているスタートアップ支援者を同領域へ関心を喚起し、支援すること

（イ）コミュニティ形成及び活性化

創薬・医療領域のスタートアップエコシステムの形成に向けて、スタートアップ

とスタートアップ支援者を巻き込みながら、コミュニティを形成・活性化していく施策を検討・実施すること

(ウ) 効果的な情報発信

国内外で注目されるエコシステムとなることを見据えたブランド構築・情報発信を企画し、取り組むこと。なお、昨年度まで活用していた Blockbuster TOKYO のブランドを活かした検討を行うこと

(エ) スタートアップ支援

エコシステム形成支援者（プロモーター）は他のスタートアップ支援者と連携して、アクセラレーションプログラムを基本としたスタートアップの支援を実施する。同支援の内容は、エコシステム形成支援者（プロモーター）及び他のスタートアップ支援者が個々の強みを生かしつつ、連携することで提供可能となるものを原則とするが、エコシステム形成支援者（プロモーター）単独による支援を妨げるものではない。また、当事業で実施されるアクセラレーションプログラムは、すでにスタートアップ支援者が実施しているプログラムの内容を強化するものであることを妨げない。

現在、想定している当事業のアクセラレーションプログラム例は以下の通りである。

- ・ 国内における創薬・医療系スタートアップの投資家が少ないことから、エコシステム形成支援者（プロモーター）が有する海外投資家との固有のリレーションを生かし、その他スタートアップ支援者と協力してスタートアップに海外 VC から資金調達を行う支援を実施するプログラムを構築する
 - ・ 知財戦略や薬事戦略を構築・策定するためのノウハウが不足している中で、エコシステム形成支援者（プロモーター）が有する特許事務所等との固有のリレーションを生かし、その他スタートアップ支援者と協力してスタートアップに知財戦略等を強化するプログラムを構築する
 - ・ 経営を担う人材が少ない中で、ヒューマンリソースマネジメントに長けたエコシステム形成支援者（プロモーター）がそのノウハウを生かし、その他支援者と協力して人材マッチング、人材育成等に特化したプログラムを構築する
- なお、当事業のアクセラレーションプログラムによって支援されるスタートアップの社数については、初年度 15 社程度、次年度以降は 20 社以上を想定している。

エコシステム形成支援者（プロモーター）は支援を開始するに際して、個社の支援計画を取りまとめ、都及び事務局に提出するとともに、支援した内容、その後の支援成果について報告する義務を負う。

(オ) その他

本事業趣旨達成に向けて、その他にエコシステム形成支援者（プロモーター）が必要と判断するものについて、企画・実施すること

(3) エコシステム形成支援者（プロモーター）としてのプロジェクト期間

プロジェクト期間は協定締結の日から令和7年3月31日まで（※）

※ 令和5年度又は令和6年度東京都歳入歳出予算に本事業に係る予算が計上されなかった場合においては、その時点でプロジェクトが終了となる場合があります。その場合、都からの補償等は致しかねますので、ご了解の上、ご応募ください。

(4) 創薬・医療領域のスタートアップの対象分野

本事業における創薬・医療領域の対象分野は、以下のとおりです。

医薬品・創薬	低分子医薬、バイオ医薬、ワクチン、ドラッグデリバリーシステム、医薬原料
創薬支援・受託サービス	受託合成・製造、受託解析、化合物ライブラリー・スクリーニング、実験動物生産・実験動物受託サービス、CMO（医薬品製造受託機関）、CRO（医薬品開発業務受託機関）、SMO（治験施設支援機関）、創薬研究支援ソフト・ラボ情報システム、創薬IT、計算創薬
医療・診断	遺伝子治療、再生医療（細胞、培養液、培地、試薬など）、免疫療法、遺伝子診断、画像診断、バイオマーカー
その他	スマートセルインダストリー分野、バイオインフォマティクス分野、デジタル分野等のうち上記の各分野に密接に関連するもの、上記の各分野の周辺技術等で上記の各分野の研究開発等に資するもの

(5) 支援の対象となるスタートアップ等の要件

本事業で支援の対象となるスタートアップの要件に関する詳細は、別紙1をご参照ください。

5. 都とエコシステム形成支援者（プロモーター）との連携

(1) 公募・審査

都は、「6.（1）応募要件」を満たすエコシステム形成支援者（プロモーター）の提案内容を選定委員会により審査し、採択を行います。

(2) 協定の締結

都は、採択したエコシステム形成支援者（プロモーター）と採択期間中の連携内容等を規定する協定を締結します（協定書の案については、別添資料をご参照ください）。

（３） 都のエコシステム形成支援者（プロモーター）に対する支援等の内容

（ア）協定金の支払い

都は、KPI の達成状況及び事業全体の成果を評価し、協定金として協定金見積額（以下「基準額」とする）及び成果報酬額の支払いを行います。

①基準額

応募時にエコシステム形成支援者（プロモーター）が設定する KPI 項目（※）ごとの経費となります。この経費は、KPI 項目を達成するために必要な費用を考慮し、設定してください。KPI 項目ごとの達成状況等に応じ、支払額が変わります。

なお、基準額の上限は、初年度 4,500 万円、次年度以降 6,000 万円（予定）となります。

※ KPI 項目設定方法及び評価方法について

設定にあたり、可能な限り定量的かつ検証可能な指標をご提案ください。

また、KPI の達成状況及び事業全体の成果の報告は年 2 回（初年度は年度末のみ）を予定し、年度末に評価を行います。エコシステム形成支援者（プロモーター）は、上記の評価を受けるに際して、KPI 項目の達成状況が客観的に確認できる根拠資料（各種契約書、議事録等）を定期的に都及び運営事務局へ提出する義務があります。

詳細については、別添「東京都創業・医療系スタートアップ育成支援事業エコシステム形成支援者（プロモーター）への協定金支払いに係る評価方法及び KPI の説明」をご参照ください。

②成果報酬額

KPI 評価委員会による事業全体の評価に応じ、上記基準額に上乗せして支払われる金額となります。

なお、基準額と成果報酬額を合わせて、初年度は最大 5,000 万円、次年度以降は最大 7,000 万円（予定）を支払います（※）。

※ 令和 5 年度以降の協定金の上限金額は令和 5 年及び令和 6 年度東京都歳入歳出予算においてそれぞれ認められた金額により確定します。この時点での予定上限金額を下回る可能性があることをご了承いただき、ご応募ください。

③支払時期

原則として、都より各年度終了後（各事業年度の翌年度 5 月頃）に一括払いにより支払います。

ただし、エコシステム形成支援者（プロモーター）が採択期間の 2 年度目以降、複数回の支払を希望する場合、年度内 2 回を上限に分割して支払うことができます（支払時期は協議により定めます）。

初年度は、2 月末（予定）に KPI 項目の達成見込みを報告（スタートアップ等の

支援は3月末まで実施)します。3月中に KPI 評価委員会による KPI 項目の達成状況を評価し、その後、次年度5月頃に協定金を支払います。

(イ) その他の支援

都及び事務局は、協定金による支援を行うほか、定期的な会議体において抽出された課題に関して、必要に応じ、解決に向けた支援を実施します。

6. エコシステム形成支援者（プロモーター）の応募方法

(1) 応募要件

以下の（ア）～（オ）の要件を満たす者を応募対象とします。なお、複数の事業者が共同事業体を結成して応募することも可能ですが、その場合は、代表事業者を決め、代表事業者が応募申請をしてください（採択後、連携した複数の事業者と協定を締結しますが、協定金は代表事業者に支払います。）。

（ア）日本国内に法人格を有し、次のいずれかに該当すること。

- ① 株式会社、持分会社（合名会社、合資会社、合同会社）、監査法人、弁護士法人等のいわゆる士業に係る営利法人
- ② 特定非営利活動法人、一般財団法人、一般社団法人
- ③ その他東京都が認める者

（イ）次のいずれにも該当していないこと。

- ① 破産手続き開始の決定を受けて復権を得ない者
- ② 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第32条第1項各号に掲げる者

（ウ）スタートアップ等の支援に関する豊富な実績を有していること。

（エ）創薬・医療領域のスタートアップ支援及びエコシステム形成に必要な知見やリレーションを十分に有していること。

（オ）機密情報の取扱いについて、適切な手段・方法で保護できる体制を有していること。

(2) 募集受付期間

令和4年11月4日から同年12月5日正午まで

(3) 質問の受付

本事業に関する質問については、原則として電子メールで受け付けます。下記アドレスまで電子メールでご連絡ください。

メールアドレス：pj_tmg_bbt@tohmatu.co.jp

なお、応募状況や審査内容に関する質問については、お答えいたしかねます。

(4) 応募様式提出前のプレエントリー

応募する意向がある事業者は、締切期日の2週間前（11月15日）を目途に運営事務局まで電子メールでご連絡ください。

なお、プレエントリーは事前に事業者の応募意向を確認する趣旨であり、プレエントリー後の応募辞退並びにプレエントリー無しでの応募を妨げるものではありません。

(5) 応募様式の提出

以下の応募様式(※)に必要な事項を記入し、「9. 申込・問い合わせ先」担当宛に下表で指定する応募書類の電子データをメールでご送付ください(合計データ容量が10MBを超える場合はデータを分けて送付いただくようお願いいたします)。原本が紙でしか存在しないものについては、スキャンの上、PDFファイルにてお送りください(紙の提出は不要です)。なお、応募書類の提出後、2日(土日祝日除く)経過しても、事務局より応募受付完了のメールが届かない場合、「9. 申込・問い合わせ先」まで電話にてご連絡ください(応募受付完了のメールが到着するまでは、応募受付完了となりませんのでご注意ください)。

※応募様式は、本事業ホームページ(<https://www.tokyo-lifescience.metro.tokyo.lg.jp>)からダウンロードできます。

No	書類	提出形式
1	企画書(注1)	PDF
2	応募フォーム	Excel
3	様式1 KPI設定説明書	Excel
4	様式2 スタートアップ等への単独及び連携支援実績を示す書類	Excel
5	定款またはそれに類するもの	PDF
6	登記事項証明書(履歴事項全部証明書)の類(写)	PDF
7	直近2期の財務諸表(B/S、P/L、CF 計算書) ※税務署に提出した決算報告書一式	PDF
8	株主名簿等、株主構成が分かる書類	PDF

※複数の事業者の提携による場合等は、その役割等がわかる体制図を必ずつけてください。

注1：企画書はプレゼンテーション審査にて使用いただくことを想定しております。

7. 審査の流れ

(1) 審査方法

有識者等で構成される審査会において、書類審査及びプレゼンテーション審査の二段階で審査を行います。

なお、プレゼンテーション審査は一次書類審査を通過した応募者のみを対象とし、12月中旬(予定)に行います。詳細はご応募いただいた方に別途ご連絡いたします。

(2) 審査基準

以下の基準に基づき審査を行います。

No	項目	内容
基礎項目		
1	企業情報	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業内容 ・ 財務情報 等
2	実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ エコシステム形成を行うにあたり十分な推進体制を構築しているか ・ その他プロジェクトの推進に必要な体制が構築されているか
3	管理・調整力	<ul style="list-style-type: none"> ・ プロジェクトを円滑に進めるマネジメント力を有しているか ・ 本事業におけるステークホルダーを巻き込み、スタートアップを支援する実績・調整力を有しているか
4	KPI 及び事業目標設定の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本事業の実施方針に資する KPI 及び事業目標が設定されているか ・ 事業の目標値は現実的かつ到達可能な設定となっているか ・ 事業計画と事業の目標値に大きな乖離がないか
機能項目		
5	ビジョン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 創薬・医療領域のスタートアップエコシステムにおける課題を深く理解できているか ・ 3 か年度が経過した後のあるべきスタートアップエコシステム像が明確に定義され、都の事業趣旨と合致しているか ・ 自走化を見据えた提案になっているか
6	実施計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ ビジョンを達成するための施策実行・推進にあたり具体的かつ実効性の高い計画を有しているか ・ 実現可能性の高い実施内容か ・ 協定金を何に充填するか十分な検討が行われているか(新たな取組や既存支援の拡充等に活用するか、活用方針に十分な企画検討がなされているか) ・ 都からの協定金以上の成果を創出できる計画となっているか
7	コミュニティ形成力	<ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティを発展させ、どのようにエコシ

		<p>システム形成を促していくのか、そのビジョンが明確か</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ形成に向けたスタートアップとスタートアップ支援者の巻き込みについて、具体的な目標値（定性・定量問わない）が掲げられた提案となっているか ・コミュニティの活性化に向けた施策案を明確に有しているか ・他のスタートアップ支援者との具体的な連携策を有しているか
8	スタートアップ支援者支援	<ul style="list-style-type: none"> ・創薬医療領域の支援者課題を認識しているか ・スタートアップ支援者支援について具体的な施策案を有しているか ・創薬・医療領域の領域への支援実績が乏しい、潜在的なスタートアップ支援者の誘引について施策案を有しているか
9	発信力	<ul style="list-style-type: none"> ・国内外におけるエコシステムの認知度向上に向けたブランディング及び効果的な情報発信のための戦略が具体的な内容となっているか ・ターゲットや手法・媒体の知識・ノウハウ等を有し、戦略実行ができるか
10	スタートアップ支援力	<ul style="list-style-type: none"> ・創薬・医療領域のスタートアップ支援に関する着眼点が適切であるか ・スタートアップ等の選定方針が事業推進にあたり適当なものか
11	ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・創薬・医療領域のスタートアップ支援者とのネットワークを有しているか ・創薬・医療領域のスタートアップないしはチームとの十分なネットワークを有しているか
12	本事業目的への適合性	<ul style="list-style-type: none"> ・公的支援を受けるに相応しい本事業目的の実現に資する事業内容であるか ・出資関係にある企業やグループ企業等の特定の企業群の利益のみを図る事業内容となっていないか

--	--	--

(3) 採択の決定

選定委員会による審査を踏まえ、採択者1者を決定します。

8. 留意事項

- (1) エコシステム形成支援者（プロモーター）は、支援の実施にあたり、本事業の要項及び協定書に記載の内容並びに各種関係法令等を遵守する必要があります。
- (2) 応募に要する費用について、都は負担しません。
- (3) 応募様式等は日本語で記載してください。
- (4) 都とエコシステム形成支援者（プロモーター）の協定の締結は、当該事業に係る各年度予算が都議会で可決され、成立することを条件とするものです。
- (5) 本事業の内容・結果のうち公表可能な部分については、普及啓発のため、原則、都及び運営事務局により公表される予定ですので予めご了承ください。
- (6) 本事業の参加者には都が企画するイベントでの登壇等、本事業の情報発信等のためにご協力いただく場合があります。
- (7) 以下の場合には審査対象外とさせていただきます場合がございますので、予めご了承ください。
 - ・ 応募者が、法令等もしくは公序良俗に違反し、またはその恐れのある場合
 - ・ 応募内容に不備がある場合
 - ・ 応募者が、応募に際して虚偽の情報を記載し、その他都及び運営事務局に対して虚偽の申告を行った場合
- (8) 応募にあたってご提供いただく個人情報や機密を含む情報は、守秘義務を有する都及び運営事務局に必要な範囲で共有、利用されます。個人情報を含む情報は事前の承認なく都および運営事務局以外の第三者に提供することはありません。
- (9) 事業の推進に関して不適切であると都が判断した場合には、実施途中で年度ごと締結する協定書を更新しない場合がありますのでご注意ください。
- (10) 本事業に関して、都は、支援を受けるスタートアップ等の事業等について、一切の保証を行うものではありません。
- (11) 本事業に応募した者に対し、採択の如何を問わず、都又は事務局は本事業への参画や協働を相談することがございますので、ご承知おきください。

※企画書に関する詳細は、別紙2をご参照願います。

9. 申込・問い合わせ先

都は、本事業の運営やエコシステム形成支援者（プロモーター）への支援に関して、運営事務局として以下の事業者へ別途業務委託を行っています。本事業への申込・問い合わせは以下の運営事務局までお願いします。（審査経過・審査結果等に関する問い合わせ等には応

じられません。)

【東京都創薬・医療系スタートアップ育成支援事業における運営事務局】

〒100-8360

東京都千代田区丸の内3丁目2番地3号 丸の内二重橋ビルディング

有限責任監査法人トーマツ（担当：濱田、石塚、高田）

電話番号：03-6213-1251

メールアドレス：pj_tmg_bbt@tohatsu.co.jp

【別紙 1】

支援対象となるスタートアップ等の要件

エコシステム形成支援者（プロモーター）が定める支援を行う対象のスタートアップ等の要件について、少なくとも具備すべき要件を「適格要件」とし、提案内容の実現に資するその他要件から総合的にその妥当性を審査します。応募時には、以下に掲げる項目を参照の上、スタートアップ等の支援対象企業の決定方針を提示してください。なお、応募時点でスタートアップ等が確定している必要はありませんが、具体的に支援を予定している企業やチームを明示してください。

【適格要件】

- ① 東京都内において事業展開を行っていること、又は行おうとしていること。
- ② 創業前のチーム、または、創業後原則 15 年以内であること。
- ③ 次のいずれにも該当しないこと。
 - ア) 破産手続開始の決定を受けて復権を得ない者
 - イ) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成 3 年法律第 77 号)第 32 条第 1 項各号に掲げる者
 - ウ) 民法第 90 条に定める公序良俗に反しない事業及び企業体であること。
- ④ 提案内容の速やかな実現のため、適当な事業者であり、かつ、必要な技術・知見等を有していること。

【その他要件】

- ① 円滑かつ効果的な事業遂行のために、十分な推進体制が確保できていること。
- ② 本事業の趣旨を理解し、選定期間中の 3 か年度にわたり意欲的かつ継続的に事業遂行に取り組む姿勢を示していること。

【留意事項】

スタートアップ等と以下①から④に該当する関係にあり、事業遂行のためスタートアップ等と資本提携を締結する又は事業遂行の過程において資金提供を想定する場合には、上記「適格要件」④及び「その他要件」の説明を求める可能性があります。なお、「留意事項」の趣旨は、本事業の公平性の確保の観点からグループ企業等の特定の企業群の利益を専ら図ろうとすることの未然防止にあり、出資を妨げる又は禁止するものではありません。

- ① 支援対象となるスタートアップ等がエコシステム形成支援者（プロモーター）と次のいずれかに該当する資本関係にある。
 - ア) 子会社等（会社法第 2 条第 3 号の 2 に規定する規定する子会社等）と親会社等（同条第 4 号の 2 に規定する親会社等）の関係にある場合
 - イ) 親会社等を同じくする子会社等同士の関係にある場合

- ② スタートアップ等と次のいずれかに該当する人的関係にある。
 - ア) 一方の会社等の役員が他方の会社等の役員を現に兼ねている場合
 - イ) 一方の会社等が、他方の会社等の管財人（民事再生法第 64 条第 2 項又は会社更生法第 67 条第 1 項の規定により選任された管財人）を現に兼ねている場合
 - ウ) 一方の会社等の管財人が、他方の会社等の管財人を現に兼ねている場合
- ③ 特定のスタートアップ等への出資比率が 50%を超えている。
- ④ エコシステム形成支援者（プロモーター）と支配従属関係にある。

その他、スタートアップ等の選定方針に関するご不明点・ご相談等は「9. 申込・問い合わせ先」までお問合せください。

企画書に関する留意事項

(1) 様式及び添付資料

企画書の様式は提案者の自由とするが、A4 横で作成すること。A4 横のプラットフォームに両面印刷で綴じ込むため、その点留意すること。ただし、応募書類送付時には PDF 形式として送付すること。

(2) 留意事項

(ア) 表紙を作成すること。

(イ) 目次を記載すること。

(ウ) 提案事項の全体をまとめた概要を 2 頁以内で記載すること。概要の作成にあたっては応募フォーム及び審査基準との対応がわかりやすいものとなるよう留意すること。

(エ) プレゼンテーション審査において、主として使用する部分（企画書本体部分）は表紙・目次・中扉・概要を除いて 30 頁以内とすること。企画書本体のほかに補足説明用の部分（企画書付属部分）を企画書に含めることは妨げないが、企画書全体として 100 頁を超えないこと（表紙、目次、概要は除く）。

(オ) ページ番号を記載すること。

(カ) フォントは自由とするが企画書の本文記載は 10 ポイント以上とすること（付属図表等に関する文字の大きさはこの限りではない）。

(キ) 各ページ右肩に当該頁が応募フォームのどの項目に該当する事項に関する記述なのか項目番号を示すこと。

(ク) 使用する言語は日本語とする。

(ケ) 表紙には、表題として「東京都創薬・医療系スタートアップ育成支援事業 エコシステム形成支援者（プロモーター） 企画書」と記載すること。

(3) 企画書に盛り込むべき内容

【全般的事項】

(ア) 都の戦略や事業目的に適した提案内容とすること。

(イ) 本業務を実施するにあたっての体制（外部の主体も含む）

(ウ) 創薬・医療領域のスタートアップ支援関連業務、オープンイノベーションに対する支援実績等、本業務を実施するに相応しい業務実績やその効果

【業務内容に係る事項】

以下の審査項目に合致する内容に関する事項を網羅すること。

- (ア) 企業情報
- (イ) ビジョン
- (ウ) 実施計画
- (エ) 実施体制
- (オ) KPI 及び事業目標設定の妥当性
- (カ) 創薬・医療領域への理解
- (キ) エコシステム形成力
- (ク) スタートアップ支援力
- (ケ) スタートアップ支援者支援
- (コ) ネットワーク
- (サ) 管理・調整力
- (シ) 発信力
- (ス) 本事業目的への適合性